

## 教員の養成の状況についての情報の公表（平成 27 年度）

### 1 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

＜教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 第 1 号＞

＜昭和学院短期大学教育サービスセンターの教員養成目標＞

昭和学院短期大学の建学の精神「明敏謙讓：活力をもって未来を拓く（明敏）、英知をもって社会に生きる（謙讓）」をふまえ、「人間性豊かで教育愛・使命感のある教員」「幼児・児童生徒を理解・支援できる教員」「教養と専門性のある教員」「倫理観を持ち、心身共に健康で明るい教員」等の資質力量を備えた教員の養成を目標とする。

#### （1） 幼稚園教諭二種免許状

##### ① 目標

- ・ 保育者としての自覚と専門性を養う。
- ・ こどもの人格形成にかかわる適切な援助ができる保育力および人の気持ちへの共感力や受容力のある保育者を養成する。

##### ② 計画

- ・ 精神、心身、身体の発達について、個人の発達とともにその発達を支える社会との関連を学び、人間を総合的に観る能力を身につけさせる。
- ・ 理論、演習、実習により実体験に裏付けられた知識・技能の習得を目指し、専門職としての意識の向上を図る。

#### （2） 中学校教諭二種免許状（家庭科）

##### ① 目標

- ・ 生活に必要な衣食住の基礎的な知識と技術を持ち、実践力を有した家庭科教員の育成を目指す。特に教育現場で必要な豊かな人間性と高い問題解決力を育成する。

##### ② 計画

- ・ 1 年前期に教職科目の根幹にあたる、教職概論、教育原理を配置することで、教員としての資質を形成する。
- ・ 家庭分野における幅広い専門領域に対応できるように、2 年間で多岐にわたる専門科目を履修できる充実したカリキュラムで学びを深める。
- ・ 各専門領域とも講義により論理的思考と基礎知識を習得し、さらに実験、実習、演習で知識の定着を図る。

(3) 栄養教諭二種免許状

① 目標

- ・ 給食管理と食の指導のできる栄養教諭を養成する。
- ・ 実践的能力の養成を図る。

② 計画

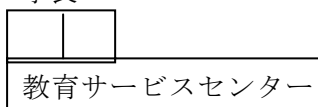
- ・ 専門科目を通して、栄養教諭としての力量を高める。
- ・ 講義を通して、教員としての教育愛、使命感等の育成を図る。
- ・ 講義を通して、教育職の重要性と教育者としての責任等について理解を促進する。
- ・ 演習では、現場の栄養教諭を講師として招聘し、即実践できる能力等を育成する。

2 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関する事。 <教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 第 2 号>

(1) 教員の養成に係る組織及び教員の数

【教職課程実施組織】

学長



教育実習委員会

- 家庭 ○教授 鈴木 洋 (他 3 名)
- 栄養教諭 ○教授 鈴木 洋 (他 3 名)
- 幼稚園教諭 ○准教授 柿沼芳枝 (他 3 名)

【教員養成に係る科目の授業担当教員数】

免許の種類		中学校教諭 2 種 (家庭)	幼稚園教諭 2 種	栄養教諭 2 種
種別				
専任教員	教科に関する科目	5	4	0
	教職に関する科目	2	4	2
	66 条の 6 に定める科目	0	0	1
兼任教員 (教科、教職科目、66 条の 6 に定める科目。上)		4	5	1

記の専任教員を除く)			
兼任教員(教科、教職科目、 66条の6に定める科目)	5	8	5

【各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること】

→ 履歴書・研究業績

【教員の養成に係る授業科目】

(1) 中学校教諭2種免許状(家庭)

人間生活学科生活クリエーション専攻の学生が、卒業要件を満たし、かつ、次の①②③に示す科目の単位を修得することにより、教育職員免許法に定める中学校教諭2種免許状(家庭)が与えられる。

①教科に関する科目

科目名	単位数		授業担当教員	備考
	必修	選択		
生活学(家庭経営を含む)	2		講師 宮坂順子	兼任
食生活論(食品学・栄養学を含む)	2		准教授 前田文子	専任
住生活論	2		准教授 川田江美	専任
衣生活論	2		講師 佐々木由美子	専任
服飾造形基礎	1		講師 佐々木由美子	専任
食生活実習	1		准教授 前田文子	専任
家庭経済学	2		講師 宮坂順子	兼任
保育学(実習を含む)	2		准教授 柿沼芳枝	兼担
家族関係学	2		講師 宮坂順子	兼任
消費経済論		2	准教授 前田文子	専任
テキスタイル学		2	准教授 川田江美	専任
テキスタイル実験		1	准教授 川田江美	専任
被服管理学		2	教授 板垣昌子	専任
被服管理学実験		1	教授 板垣昌子	専任
アパレル企画演習		1	准教授 川田江美	専任
服飾造形論		2	講師 佐々木由美子	専任
応用食品学		2	講師 浜守杏奈	兼任
健康栄養学		2	准教授 前田文子	専任
調理学		2	准教授 前田文子 教授 畑江敬子 特任教授 福永淑子	専任 専任 兼任

フードデザイン実習		1	准教授 前田文子	専任
健康衛生論		2	講師 浜守杏奈	兼任
合 計	16	20		

②教職に関する科目

科目名	単位数		授業担当教員	備考
	必修	選択		
教職概論	2		教授 鈴木 洋	専任
教育原理	2		教授 佐藤智広	兼任
教育心理学	2		講師 松本浩之	兼任
家庭科教育法	2		准教授 川田江美	兼任
道德の指導法	1		教授 鈴木 洋	専任
特別活動の指導法	1		教授 立林尚也	専任
生徒指導・進路指導	2		教授 鈴木 洋	専任
教育相談	2		教授 鈴木 洋	専任
教育実習指導	1		教授 鈴木 洋	専任
教育実習	4		教授 鈴木 洋	専任
教職実践演習（中学校）	2		教授 立林尚也 准教授 川田江美	専任 兼任
合 計	21			

③教職に必要な科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目）

科目名	単位数		授業担当教員	備考
	必修	選択		
日本国憲法	2		講師 棟久 敬	兼任
スポーツ理論・実技 A	1		助教 伊坪有紀子	兼任
スポーツ理論・実技 B	1		助教 伊坪有紀子	兼任
総合英語 A	1		講師 大山美子	兼任
総合英語 B	1		講師 大山美子	兼任
コンピュータ基礎演習 A		*1	准教授 阿久津 毅	兼任
コンピュータ基礎演習 B		*1	准教授 阿久津 毅	兼任
情報処理 A		*1	准教授 阿久津 毅	兼任
情報処理 B		*1	准教授 阿久津 毅	兼任
合 計	6	4		

\*印は 4 科目から 2 単位以上を修得すること。

(2) 幼稚園教諭 2 種免許状

人間生活学科こども発達専攻学生が次の①②③に示す科目の単位を修得することにより、教育職員免許法に定める幼稚園教諭 2 種免許状が与えられる。

①教科に関する科目

科目名	単位数		授業担当教員	備考
	必修	選択		
日本語表現		2	教授 佐藤智広	兼担
教養数学		2	講師 田中正夫	兼任
生活学（生活科を中心にして）		* 2	教授 高橋あき子 教授 中川秋美	専任 専任
衣生活論		* 2	教授 板垣昌子	兼担
食生活論		* 2	准教授 前田文子	兼担
住生活論		* 2	准教授 川田江美	兼担
音楽表現法		2	助教 宇杉美枝子 講師 森田聡子 講師 千輝奈央子 講師 新海未穂	専任 兼任 兼任 兼任
こどもの図画工作A		1	助教 中村光絵	兼担
こどもの図画工作B		1	助教 中村光絵	兼担
色彩学演習		2	講師 佐々木由美子	兼担
幼児体育		1	助教 伊坪有紀子	専任
合 計		19		

\*印は 4 科目から 4 単位以上修得すること。合計 8 単位以上修得すること。

②教職に関する科目

科目名	単位数		授業担当教員	備考
	必修	選択		
教職概論	2		助教 本蔵達矢	専任
教育原理	2		教授 佐藤智広	専任
教育心理学	2		講師 三輪聡子	兼任
幼児教育課程論	2		准教授 柿沼芳枝	専任
保育内容総論	1		准教授 柿沼芳枝	専任
保育内容：人間関係	1		准教授 柿沼芳枝	専任
保育内容：表現（音楽）	1		講師 宮内康乃	兼任
保育内容：表現（造形）	1		助教 中村光絵	専任
保育内容：健康	1		助教 伊坪有紀子	兼担

保育内容：環境	1		助教 中村光絵	専任
保育内容：言葉	1		助教 本蔵達矢	専任
保育の表現技術 A（音楽中心）		2	講師 森田聡子 講師 千輝奈央子 講師 新海未穂	兼任 兼任 兼任
保育の表現技術 B（身体表現中心）		1	助教 伊坪有紀子	兼任
保育の表現技術 C（造形中心）		1	助教 中村光絵	専任
幼稚園教育特論		2	准教授 柿沼芳枝	専任
保育基礎演習		1	准教授 柿沼芳枝 助教 中村光絵	専任 専任
教育方法 I	1		教授 佐藤智広	専任
教育方法 II	1		教授 板垣昌子	兼任
幼児教育（カウンセリングを含む）	2		助教 本蔵達矢	専任
幼稚園実習指導	1		准教授 柿沼芳枝	専任
幼稚園実習	4		准教授 柿沼芳枝	専任
教育実践演習（幼稚園）	2		教授 佐藤智広	専任
合 計	26	7		

選択科目から、1 単位以上修得すること。

③教職に必要な科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目）

科目名	単位数		授業担当教員	備考
	必修	選択		
日本国憲法	2		講師 棟久 敬	兼任
スポーツ理論・実技 A	1		助教 伊坪有紀子	兼任
スポーツ理論・実技 B	1		助教 伊坪有紀子	兼任
総合英語 A	1		講師 大山美子	兼任
総合英語 B	1		講師 大山美子	兼任
コンピュータ基礎演習 A		* 1	准教授 阿久津 毅	兼任
コンピュータ基礎演習 B		* 1	准教授 阿久津 毅	兼任
情報処理 A		* 1	准教授 阿久津 毅	兼任
情報処理 B		* 1	准教授 阿久津 毅	兼任
合 計	6	4		

\*印は、4 科目から 2 単位以上を修得する。

(3) 栄養教諭 2 種免許状

ヘルスケア栄養学科学生が栄養士免許証の取得を前提として、次の①②③に示す科目の単位を修得することにより、教育職員免許法に定める栄養教諭 2 種免許状を取得

する資格が与えられる。

①栄養に係る教育に関する科目

科目名	単位数		授業担当教員	備考
	必修	選択		
栄養教諭教育論	2		講師 岡野美智子	兼任
合 計	2			

②教職に関する科目

科目名	単位数		授業担当教員	備考
	必修	選択		
教職概論	2		教授 鈴木 洋	専任
教育原理	1		教授 佐藤智広	兼任
教育心理学	1		講師 松本浩之	兼任
道德の指導法	1		教授 鈴木 洋	専任
特別活動の指導法	1		教授 立林尚也	専任
生徒指導論	1		教授 鈴木 洋	専任
教育相談	1		教授 鈴木 洋	専任
栄養教育実習指導	1		教授 鈴木 洋 講師 岡野美智子	専任 兼任
栄養教育実習	1		教授 鈴木 洋	専任
教職実践演習（栄養教諭）	2		教授 鈴木 洋 講師 岡野美智子	専任 兼任
合 計	12			

③教職に必要な科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目）

科目名	単位数		授業担当教員	備考
	必修	選択		
日本国憲法	2		講師 棟久 敬	兼任
健康と運動（理論と実技）A	1		講師 鈴川清美	兼任
健康と運動（理論と実技）B	1		講師 鈴川清美	兼任
実用英語A	1		講師 大山美子	兼任
実用英語B	1		講師 大山美子	兼任
コンピュータ基礎演習A	1		准教授 阿久津 毅	専任
コンピュータ基礎演習B	1		准教授 阿久津 毅	専任
合 計	8			

3 授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。

＜教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 第 3 号＞

\* 平成 27 年度のシラバスより教職に係る部分を参照

4 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

＜学校教育法施行規則第 22 条の 6 第 4 号＞

(平成 25 年度卒業生)

学科・専攻名	免許状取得者数	中学校二種免許状(家庭)	幼稚園二種免許状	栄養教諭二種免許状	合計
人間生活学科 生活クリエイション専攻	4	4			4
人間生活学科 こども発達専攻	5 5		5 5		5 5
ヘルスケア栄養学科	1 3			1 3	1 3
合 計	7 2	4	5 5	1 3	7 2

5 卒業者の教員への就職の状況に関すること

＜教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 第 5 号＞

(平成 25 年度卒業生)

学科・専攻名	採用の区分	中学校二種免許状(家庭)	幼稚園二種免許状	栄養教諭二種免許状	合 計
人間生活学科 生活クリエイション専攻	国 公 私	正 他 1	正 他	正 他	正 他 1
人間生活学科 こども発達専攻	国 公 私	正 他	2 2	正 他	正 他 2 2
ヘルスケア栄養学科	国 公 私	正 他	正 他	正 他	正 他



合	計		1	2 2		2 2	1
---	---	--	---	-----	--	-----	---

6 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組みに関すること

＜教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 第 6 号＞

(1) 幼稚園教諭二種免許状

- ① 実習前に観察・参加実習を含む「保育基礎演習」の授業を実施し、実習への意欲と専門職としての自覚を高める。また、二年間にわたる実習体制により、段階的に実践力を培う。
- ② 附設の子育て支援センター等を活用するなど、こどもや子育て中の親にかかわる中でこどもの発達や保護者の思い等を体験的に学び、保育者としての愛情や使命感を培う。
- ③ 講義、協議、演習、実習を組み合わせながら幅広く学び、豊かな人間性、専門性、高い倫理観の育成を図る。
- ④ 2年後期の「教職実践演習」では模擬保育を実施し、実践力を育成する。

(2) 中学校教諭二種免許状（家庭科）

- ① 各専門領域では実習、実験、演習を多く配置し、実践力の育成をはかる。
- ② 教養科目にて現代的な課題に取り組むとともに、高い教養を身につけて豊かな人間性を身につける。
- ③ 2年後期の教職実践演習では教育実習前に全員が模擬授業を行うことで、実践力と授業技術を習得する。

(3) 栄養教諭二種免許状

- ① 実習、実験、演習を通して、栄養教諭としての専門性を高める。
- ② 講義を通して、児童生徒理解・支援のできる栄養教諭を育成する。
- ③ 講義では討論等を取り入れ、豊かな人間性や高い倫理観等の育成を図る。
- ④ 演習を通して、教員として必要な指導力、技能、実践力、態度等の育成を図る。